



## 北上医師会市民公開講座

### 「住み慣れた北上で看取りを考える市民の集い」

主催 北上医師会 共催 北上市

7月21日、北上オフィスプラザにて北上市民と看取りに関心のある方を対象に、「住み慣れた北上で看取りを考える市民の集い」と題した公開講座が行われました。第1部では復元納棺師・笹原留似子氏が「最期まで自分らしく穏やかに過ごすために」と題して基調講演を行いました。自分の親の介護の経験から、尊厳を大切にしつつもひとりで抱え込まずに専門職に相談することが大事であることを、現在の仕事の内容を交えながらお話しされました。



第2部のシンポジウムでは、「住み慣れた北上での看取りを考える」と題し、千葉恭一氏（北上市医師会理事・ホームケアクリニックえん院長）を座長に、北上市長寿介護課・高橋直子氏、八天の里在宅介護支援センター・田鎖健氏、訪問看護ステーションみのり岩手・村瀬裕子氏、北上市民の小田島幸子氏の4名が、それぞれの立場から医療介護の現状や看取りの現状の報告、家族を看取った経験談の発表を行いました。

参加者100名は、在宅で看取ることについていろいろな方面から話を聞き、実際に在宅で看取った方は、各専

## 第5回・第6回 きたかみ生活相談員連携・交流会

主催：きたかみ生活相談員実行委員 共催：北上市在宅医療介護連携支援センター

7月20日、北上済生会病院大会議室にて第5回生活相談員連携・交流会が行われました。

参加者18名は、今回、「理想の働き方」というテーマで意見交換しました。同じ立場で意見交換することで、理想を大切にしながら、日々困っていることの情報共有や相談が出来て良かったと感想が聞かれました。利用者さんのその人らしい生活が出来るようにオールマイティに活躍されることを期待しております。



9月21日、北上済生会病院大会議室にて行われた第6回生活相談員連携交流会では「認知症について」の研修を行いました。北上済生会病院副院長の柴内一夫氏を講師に、参加者23名は認知症の症状に合わせた対応の仕方を学びました。認知症患者は増えてきており、不安を増大させないようにするにはどう接したらよいか日々悩み業務していることなどをグループワークで共有しました。質疑応答も活発に行われておりました。



## 北上市在宅医療介護連携支援センターに 宮城県栗原市からの視察で来院

7月5日、宮城県栗原市の栗原市在宅医療介護連携支援センター市民生活部介護福祉課認定調査係長・片倉茂氏、栗原市立栗原中央病院副看護部長・千葉由美子氏、相談員（看護師）・石川佳代氏の3名が、北上市在宅医療介護連携支援センターの視察においでになりました。平成28年2月からこれまでの北上市における在宅医療介護連携推進事業の取り組みについて説明を行いました。栗原市の強みを活かし、シームレスな拠点事業を展開し、ご活躍できることを願っております。



## 『第4回 幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会』

～心づもりノート編～』 主催 北上市・北上市在宅医療介護連携支援センター

8月6日、市民と医療介護福祉専門職の顔の見える連携企画、『幸せに歳を重ねるための心づもり勉強会』がさくらホール大アトリエにて開催され、45名の方が参加されました。前回の第3回勉強会では、北上市独自で心づもりのきっかけとなるノートを作成することが提案され、有志によりノート作成班が立ち上がりました。そしてこの度、約半年の期間をかけて完成したノート案のお披露目が行われました。

コーディネーター（県立中部病院副院長・星野彰氏）の進行で、参加者の皆さんがノートを使った心づもり体験を行い、ノートの活用法について自由に意見を出し合いました。市民の方からは「こういうノートがあれば家族と話しやすい」とか「考えていなかったが、家族が困るなら書いておきたい」などの声が聞かれました。岩手保健医療大学学長・清水哲郎氏にもお越し頂き、コメントをいただきました。

北上市版心づもりノート「わたしのきぼうノート」は、自分が伝えたいことを元気なうちから家族、または大切な人に気づいてもらう、備える、伝えるきっかけにしてもらうことを願い、今までたくさんの方たちと話し合いを重ね検討してきたものです。自分の希望が変わった都度書き直しをお勧めしていることも特徴です。大切な人と話し合い、お互いの思いを尊重できる良い関係の構築や、自分の意思が伝えられなくなっても大切な人が「こんな話をしたことがあります」などと医師等に伝えられることなどの効果が期待できます。「わたしのきぼうノート」で、幸せに歳を重ねるための話し合いを始めてみませんか？

今後も引き続き、勉強会でノートの配布方法や周知方法について検討していく予定です。関心のある方はどなたでも参加できますので北上市役所長寿介護課までお問い合わせください。



## 第9回・第10回 多職種連携事例検討会ケアラボ@きたかみ

主催：北上市・北上地域包括支援センター主任ケアマネ部会・北上市在宅医療介護連携支援センター

第9回ケアラボ@きたかみが、8月28日、北上市役所5階会議室にて開催されました。参加者は93名でした。岩手県立中部病院医療ソーシャルワーカー・千葉桂子氏を事例提供者に迎え、「入院中の1人暮らしの男性との関わり支援」を題材に、「困難なケースと決める（決めてしまう）要因があるとすれば何が考えられるか」「入院中は本人の決断をサポートするうえでMSWが大きな働きを果たしたが、在宅ケアを行っていくうえでは誰が本人の決断をサポートするのか」について参加者がそれぞれの意見を述べ合い、活発な事例検討会となりました。

第10回ケアラボ@きたかみは、10月18日、同会場にて開催されました。地域包括支援センターわっこ・佐々木亜由美氏を事例提供者に迎え、事例「金銭搾取されている可能性があるが、精神疾患があり、本人に被害者意識がない場合の対応・支援方法」をテーマに取り上げました。複雑なケースにおいては「どの状態・行動に着目するか」が人それぞれ異なり、チームで支援する際には支援者それぞれの視点の擦り合わせが必要であることがグループワークで明らかになりました。参加者は85名でした。

MCの地域包括支援センターわっこ・老林聖幸氏、スーパーバイザーのホームケアクリックえん・櫻井茂氏のお2人が、事例提供者や参加者に新しい気付きと元気を持って帰ってもらえるよう、多角的な視点から対人支援において共通する大切な視点を示してくれます。様々な専門職がつながることができる場となっています。遅い時間の開催となっておりますが、ぜひ皆さんご参加ください。

次回は2月7日開催予定です。



9月6日（木）18時30分から、北上済生会病院大会議室にて第2回テーマ型研修会が行われました。伊東歯科医院院長・伊東真先生を講師に迎え、「口腔機能・嚥下障害と考える前に一よく噛むことは本当に良いこと？」と題して講演が行われました。機能できる義歯（機能できるようにする）、口腔内の痛いところを直す（虫歯治療や歯周病治療、力のコントロール）、口腔ケア（乾燥状態の改善など）、摂食嚥下障害の治療（食べられる状況を作ること）が重要で、元気なうちにいかに噛める義歯を作るかがポイントとのことでした。今までよく噛んで食べる、硬いものを食べなくなった現代人はあごが小さくなっているという情報を信じていたので目からうろこの話でした。ガムをかむことが『百害あって一利あり』など発想の転換の多い研修となりました。



## 第3回入退院支援作業部会

主催：北上市在宅医療介護連携支援センター

入退院支援作業部会は、4フェーズの視点（日常の療養支援・看取り・緊急時の対応・入退院支援）から、医療・介護・行政が共通で必要とする情報の検討と入退院時連携にあたっての主な課題と対応策の提案を行うことにより、入退院支援の推進及び医療と介護の連携推進を図るとともに、医療介護連携・多職種協働のスキルアップと在宅チームケア体制の構築を図ることを目的としています。第3回部会は、9月11日、北上済生会病院にて開催されました。部会にて整備した「医療と介護の情報提供書（在宅情報）」の運用状況報告のあと、入退院時連携にあたっての主な課題と対応策の提案として、「北上市の入退院支援の手引き・ハンドブック（仮称）」の作成提案が事務局より行われました。今後は部会における意見交換・協議を重ねるとともに、各職能団体への主旨

交換を行い、年度内にハンドブック・手引きの作成を行う予定となりました。作成後の活用方法や周知方法についても併せて協議を行っていきます。多職種それぞれのプロフェッショナルリズムをフルに活かした在宅チームケア体制の構築を目指し協議を進めていきます。

次回の部会は11月9日開催  
予定です。



## 平成30年度 第2回相去・鬼柳地区ケアマネジャーネットワーク研修会 出前講座「高齢者の特色と救急車を呼ぶ前に・・・」

主催：地域包括支援センター北上中央

8月22日、特別養護老人ホーム敬愛園にて北上済生会病院副院長兼在宅医療介護連携支援センター長兼リハビリテーション科科長脳神経外科医長 柴内一夫氏による「高齢者の特色と救急車を呼ぶ前に・・・」と題した出前講座が行われました。相去・鬼柳地区の居宅介護支援事業所、サービス事業所の介護職員、看護師、薬剤師など54名の方が参加されました。高齢者の救急搬送の現状や特徴的な疾患、観察ポイント、バイタルサインや普段の様子を把握し、いつもと違うと感じたとき病院受診のタイミングや判断について学びました。症状の説明があり、役に立った、わかりやすかった、普段高齢者の方を見ていて不安なことや判断に迷うことがあり、大変参考になった、とのご意見を頂きました。在宅きたかみではご希望があれば、出前講座も行っておりますのでご連絡ください。



【編集後記】情報一覧が11月末にはお届けできるのではないかと考えております。開所・閉所・変更などの情報がありましたら教えていただきたいと思います。秋は研修が多くなっております。自分のスキルアップや学びたいテーマがありましたらホームページを見てお出かけください。なお、出前講座も行っております。希望に添えるよう調整も致します。ご相談ください。

〒024-8506 北上市花園町一丁目6-8

【発行元】（北上済生会病院管理棟2階）

北上市在宅医療介護連携支援センター

TEL: 0197-88-3011 FAX: 0197-88-3012

<http://www.zaitaku-kitakami.com/>